

交通ちば



VOL. 488

平成 31 年 1 月 1 日



公益財団法人千葉県交通安全協会
千葉県交通安全活動推進センター



「交通安全県ちば」の実現を目指して

公益財団法人 千葉県交通安全協会

会長 安藤 轟 勇

明けましておめでとうございます。

平成31年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

皆様方には、平素から千葉県交通安全協会の地域における交通安全活動に深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会は、交通安全活動を行う県内唯一の公益財団法人として交通事故の根絶を目指し、県下44地区の交通安全協会と連携して県警察が主導する「ゼブラ・ストップ活動」に積極的に参画するとともに、子どもや高齢者に対する自転車交通安全教室の開催や通学時間帯及び薄暮時の街頭活動を強化してまいりました。

特に、高齢者の自転車が関係する交通事故防止に注力し、県内各市町村の御協力をいただきながら、県内各地において高齢者が参加する行事等に職員を派遣して交通安全教室等を開催するなど、自転車に関係する交通ルールの周知及び自転車乗車中のヘルメット着用推進に努めたところであります。しかしなが

ら、昨年は、交通死亡事故が多発し、秋には県警察から県下全域に「交通死亡事故防止緊急対策」が発令されるなど厳しい状況が継続しました。

こうした状況を深刻に受け止め、県協会として「第10次千葉県交通安全計画」において目標としている、平成32年までに年間交通事故死者数を150人以下にするという目標達成に貢献すべく、県、警察をはじめとする関係機関の御指導を仰ぎながら、地区協会と連携を密にして交通事故防止の広報啓発活動を推進するとともに、より一層子どもと高齢者を交通事故から守る保護活動を強力に展開し、「交通安全県ちば」の実現に努めてまいります。

つきましては、皆様方には本年も交通安全協会の活動に対しまして、御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



「交通安全県ちば」の確立を目指して

千葉県知事 森田健作

明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日ごろから交通事故防止に向け、地域に密着した各種の交通安全活動に御尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、「第10次千葉県交通安全計画」に掲げた目標を踏まえ、関係各位がそれぞれの立場で役割を果たすとともに、お互いに力を合わせ積極的に活動に取り組んでいただいた結果、交通事故総量の抑止に一定の成果を上げる事ができました。

一方で、一昨年よりも多くの方が交通事故で亡くなられ、特に、高齢者の横断歩道を含めた道路横断中の事故や自転車乗車中に被害に遭う事故が多く発生しています。

県では、横断歩道における歩行者保護を目的とした「ゼブラ・ストップ活動」を警察と連携して取り組み、誰もが安心して道路を利用できる環境づくりを目指しているところです。皆様におかれましても、横断歩行者の安全確保を徹底するため、まずは、道路では歩行者が最優先という意識を、関係者一人ひとりに浸透させていただきますようお願いいたします。

また、「自分の命は自分で守る」ということも交通安全には欠かせない重要な対

策となりますので、自転車を利用する際は、ヘルメットの着用を御家族や関係者の方々に、是非勧めてください。

さらに、来年に開催が迫った東京オリンピック・パラリンピックにおいては、本県でも8競技が実施されることから、世界各国から多くのお客様の来県が予想されます。

海外からお越しの方にも安心して道路を利用していただくためには、県民一人ひとりが模範となつて交通ルールを遵守し、交通マナーを実践することが必要となります。

こうしたことから、幼児から高齢者までの各年齢層に対する交通安全教育や交通安全に関する広報・啓発活動、街頭指導活動など、更なる取組の強化をお願いいたします。

交通事故を根絶するためには、日々、交通安全活動に御尽力いただいている関係機関・団体の皆様のお力添えが不可欠です。今後とも、「交通安全県ちば」の実現に向けて、より一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。新年のあいさついたします。



「交通安全意識の高揚に向けて」

千葉県警察本部長 早川治

明けましておめでとございます。

千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の皆様におかれましては、御家族共々輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から、交通安全活動の推進に多大な御尽力をいただいていることに敬意を表しますとともに、警察業務の各般にわたり深い御理解と御支援を賜っておりますこと心から感謝申し上げます。

さて、平成30年中の県内の交通事故情勢については、前年に比べ、人身事故の発生件数及び負傷者数は減少しましたが、交通事故死者数は残念ながら大きく増加しました。

特に、交通事故死者に占める高齢者の割合が依然として高く、道路横断中等に被害に遭っているほか、高齢運転者による事故の割合も年々高くなっています。また、昨年は、自転車乗車中の死亡事故が前年と比べ増加したほか、飲酒運転を始めとする悪質・危険な違反による重大事故等も引き続き後を絶たない状況でした。

「第10次千葉県交通安全計画」では、「平成32年までに年間の交通事故死者数を150人以下にする。」との目標が示されています。

二〇一九年使用交通安全年間スローガン

◆運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席

内閣府特命担当大臣賞

四輪に 無事故を足して 待つ五輪

警察庁長官賞

全員の ベルトのカチャリが コーサイン

◆歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

危険だよ スマホに夢中の その君

内閣府特命担当大臣賞

赤信号 わたったうしろに 子供の目

警察庁長官賞

身につける 夜道のお守り 反射材

全日本交通安全協会会長賞

小さな手 上げた大きな 赤信号

◆中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

とび出さない いったんとまって みぎひだり

内閣府特命担当大臣賞

ちゅういして くるまがくるかも まがりかど

文部科学大臣賞

自転車と いつも一緒 ヘルメット

警察庁長官賞

登下校 いつもの道こそ 要注意

2019年使用交通安全ポスターデザイン募集

主催 一般財団法人全日本交通安全協会 毎日新聞社

募集内容

● 作品には、各部門とも「2019年使用内閣総理大臣賞受賞スローガン」を原文のまま使用してください。（スローガンの漢字をひらがなやカタカナに変えたり、句読点や括弧などを付加した場合は、審査対象となりません。）

募集部門

- 一般部門A（どなたでも応募可）
運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの
スローガン「チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席」を使用
作品サイズB3判 縦位置のみ
- 一般部門B（どなたでも応募可）
歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
スローガン「危険だよ スマホに夢中の その君」を使用
作品サイズB3判 縦位置のみ
- こども部門（中学生以下のみ応募可）
中学生以下（自分たち自身）へ交通安全を呼びかけるもの
スローガン「とび出さない いったんとまって みぎひだり」を使用
作品サイズB3判または四ツ切り画用紙縦・横位置自由

作成上の注意

- 信号機、標識、標示などは正しく描く
- 車内の人物はシートベルトまたはチャイルドシートを着用
- 自転車は安全な利用方法で表現
- 自転車はブレーキ等車体を正しく描く

応募方法

【個人で応募する場合】

応募票を作品ごとに裏面に添付。応募票には①応募部門②住所（高校生以下は学校所在地）③氏名④生年月日⑤所属（学校名・学年又は企業・団体名）⑥電話番号（高校生以下は学校）を明記。

【学校・団体・企業などで一括応募する場合】

応募票とは別に、学校・団体・企業の所在地、電話番号と応募者全員の名前、学年、応募担当者（教諭など）名を記した一覧表を同封してください。

送り先

〒262-0003 千葉県花見川区字那谷町1501-2

株式会社ベターサービス「交通安全ポスター」係

問合せ先

毎日企画サービス「交通安全ポスター」事務局

TEL：03-6265-6815 平日午前10時～午後5時

県警では、目標達成に向け、交通死亡事故の増加傾向に歯止めを掛けるべく、高齢者等に対する指導取締り、交通安全教育や広報啓発に力を入れるほか、悪質・危険な違反に対する指導取締り、交通安全施設の整備等の諸対策を強力に推進することとしております。また、横断歩道において歩行者が安全に横断できる環境の実現を目指して昨年から実施している、「ゼブラ・ストップ作戦」を引き続き推進し、「横断歩道における歩行者等の優先」をドライバーに一層浸透させていくこととしております。

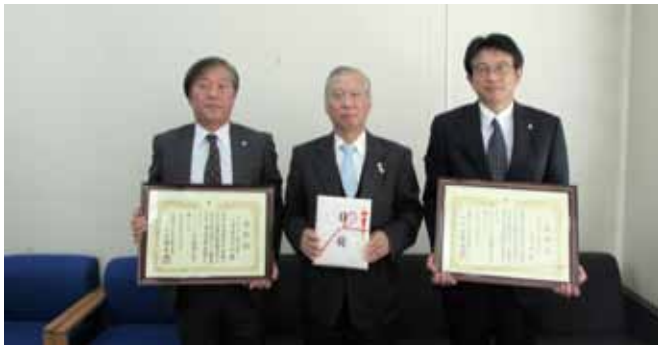
交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するためには、県民一人一人の交通安全意識の一層の高揚を図ることが必要不可欠です。地域における交通安全活動のリーダーである皆様には、本年も引き続き、「交通安全県 安全教育や街頭指導、各種広報活動など」、「交通安全県 ちば」の実現に向け、なお一層の御尽力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の一層の御発展と、皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。



交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会の交通ボランティア活動に活用されています。

サッポロビール株式会社から交通安全事業へ寄附



寄附に対する感謝状の贈呈

11月28日、県交通安全協会は、サッポロビール千葉工場長及び千葉統括支社長から、交通安全対策資金として155,712円の寄附を受けました。

受けた寄附は、子供や高齢者の関係する交通事故を防止するため、交通安全教育用のDVDを購入し、事業所等を中心に貸出すことにしています。



購入したDVD

平成30年度 シニアドライバースクール開催

11月24日、日本自動車連盟（JAF）、日本自動車工業会及び全日本交通安全協会の共催による（千葉県警察、県交通安全協会などが後援）参加体験型安全運転実技講習会「シニアドライバースクール」が、千葉運転免許センターで開催されました。

この講習会では、参加者が普段から乗り慣れた自家用車を活用し、運転操作について学ぶ体験型の交通安全教室で、ASV（先進安全自動車）体験、危険回避走行などについて学びました。参加者からは、「思うように止まれなかった」、「参加してためになった」等の感想が聞かれました。



ABS体験



衝突被害軽減ブレーキ体験



死角



点検

飲酒運転をなくすための3つの約束

約束1 お酒を飲んだら運転しない

運転者はお酒を飲んだら運転せず、例えば公共交通機関や運転代行を利用すること。運転するならお酒は絶対に飲まず、アルコールが含まれていない飲み物にすること。また、飲酒運転を避けるために、自動車を飲食店に持っていかないなどの対策をとりましょう。

約束2 運転する人にはお酒を飲ませない

運転するおそれがある人にはお酒を勧めたり、飲ませたりしないこと。

約束3 お酒を飲んだ人には運転させない

飲酒した人には絶対に運転させないこと。
飲酒運転の車に同乗しないこと。
飲食店側では飲酒運転防止のため、帰りの交通手段を確認するなどの対策も。

(政府広報オンライン)

賛助会員入会のお願い

公益財団法人千葉県交通安全協会は「交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県」をつくるために各種の交通安全事業を行っています。当協会の活動にご賛同いただける個人又は団体に、賛助会員としての入会をお願いしています。詳しいことは右までお問い合わせください。

発行 公益財団法人千葉県交通安全協会

ホームページアドレス
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番

千葉県警察本部交通部運転免許本部内

電話 043-271-8481

